

科目名	日本史 Japanese History	科目コード	* 0590
-----	----------------------	-------	--------

学科名・学年	全学科・2年
担当教員	田中 聡（一般教育科）
単位数・区分	履修単位科目・2単位・必履修
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義56，その他4】
教科書	現代の日本史（山川出版社）
補助教材	図説日本史通覧（帝国書院）
参考書	授業ごとに紹介

【A. 科目の概要と関連性】

日本近現代史に関する基礎知識を講義とスライドショーにより学習する。

○関連する科目：世界史（1年），歴史学Ⅰ（4年，選択），歴史学ⅡA・ⅡB（5年，選択）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育到達目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
日本近現代史の基礎事項を理解する。	100%	(a1)

【C. 履修上の注意】

積極的な参加を期待する。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（80%）【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】
- その他の試験（0%）
- レポート（0%）
- その他（20%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

週	内容	備考
1	東アジア国際環境の変化と開国	
2	政治秩序の崩壊	
3	明治維新と革新政策	
4	対外関係の変革と内乱の終結	
5	立憲政治をめざして	
6	憲法の制定と議会の開設	
7	東アジアの国際環境と条約改正問題	
8	中間試験	試験時間：50分
9	清国との戦い～藩閥・政党の対立と協力	
10	ロシアとの戦い～日露戦後の国際関係と日本	
11	産業化の推進と国民生活の変化	
12	第一次世界大戦と日本の外交	
13	デモクラシーの高まりと政党	
14	国際協調と軍縮の進展	
—	期末試験	試験時間：50分
15	試験解説とまとめ	

● 後期

週	内容	備考
1	政党政治の時代	
2	大戦中から戦後の経済と社会～都市化と大衆文化	
3	昭和恐慌～協調外交の行きづまり	
4	満州事変から国際的孤立へ～軍部の政治的台頭	
5	中国との戦い	
6	第二次世界大戦と世界新秩序	
7	太平洋戦争	
8	中間試験	試験時間：50分
9	日本の敗北～占領政策の展開	
10	戦後民主主義の定着～政治・経済の再建	
11	独立の回復～55年体制の成立	
12	安保体制下の日本～高度経済成長の光と影～経済大国	
13	冷戦の終わり～国内政治の再編成	
14	アジア・太平洋と日本～21世紀を迎えて	
—	期末試験	試験時間：50分
15	試験解説とまとめ	